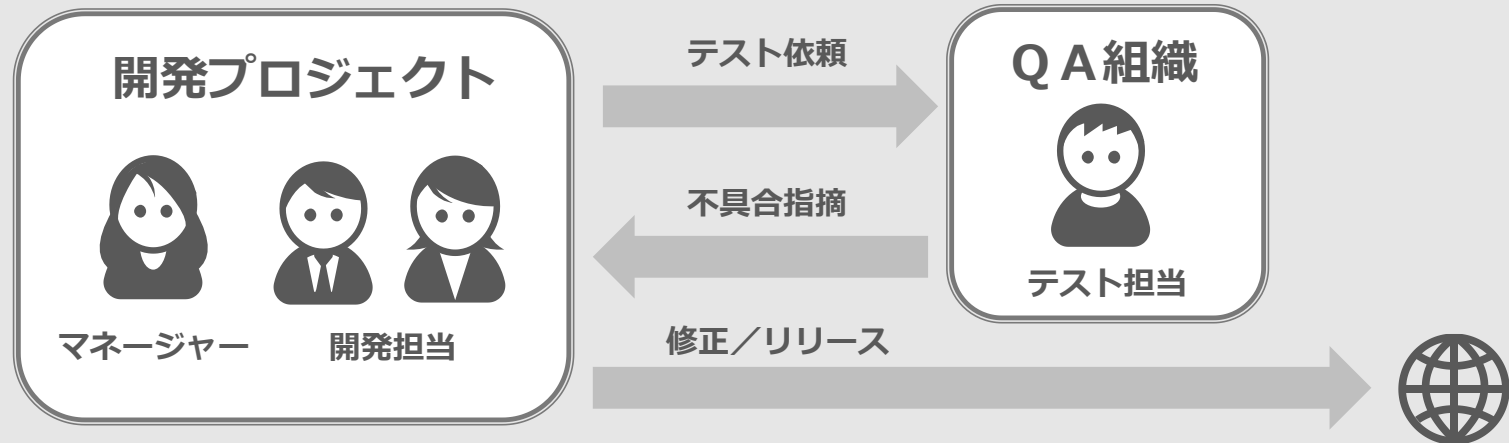


テンプレート利用による 簡易的テスト分析の実践事例

ヤフー株式会社システム統括本部
武井 真人

背景

2013年以前



2013年以降



課題が発生

テストの正当性と充足性に不安が生じた



このテストで
本当に大丈夫？

■これまでのテスト項目の例

テスト項目	テスト内容
トップページ	全体確認
トピックス	表示内容が正しい
検索	検索文字と検索APIの返す内容とを比較する

※上記内容は実例ではありません

大雑把すぎ？
細かすぎ？



足りないかも…



主な原因

テストスキル不足

テストが本職じゃないし



これまで経験則でしかテストしてこなかったし

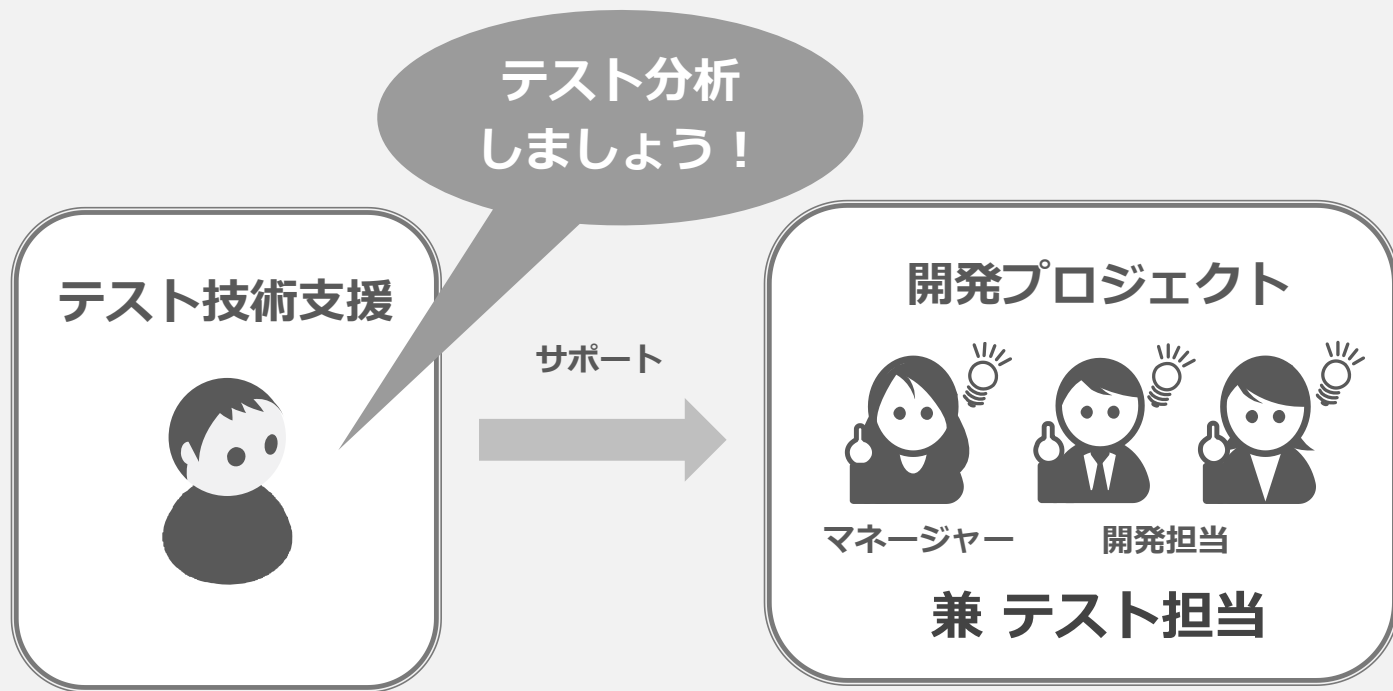


テスト技術について勉強する機会がなかったし



課題への対応

- テスト技術支援チームによるテスト技術向上活動の実施
- テスト分析による「何をテストすべきか」の識別を推奨



テスト分析をやってみた問題点

分析結果が機能一覧レベルで 想定できる観点が実装機能のみ

■テスト分析結果の例

大分類	中分類	小分類	テストすべきこと
トップ画面	トピックス機能	切り替えタブ	トピックス一覧が正しく切り替わること
		トピックス一覧表示	表示内容が正しいこと
		記事リンク	記事詳細に遷移すること
	検索機能	検索文字入力	検索文字を正しく入力できること
		検索ボタン	検索結果を正しく表示できること

観点足りてる？



※上記内容は実例ではありません

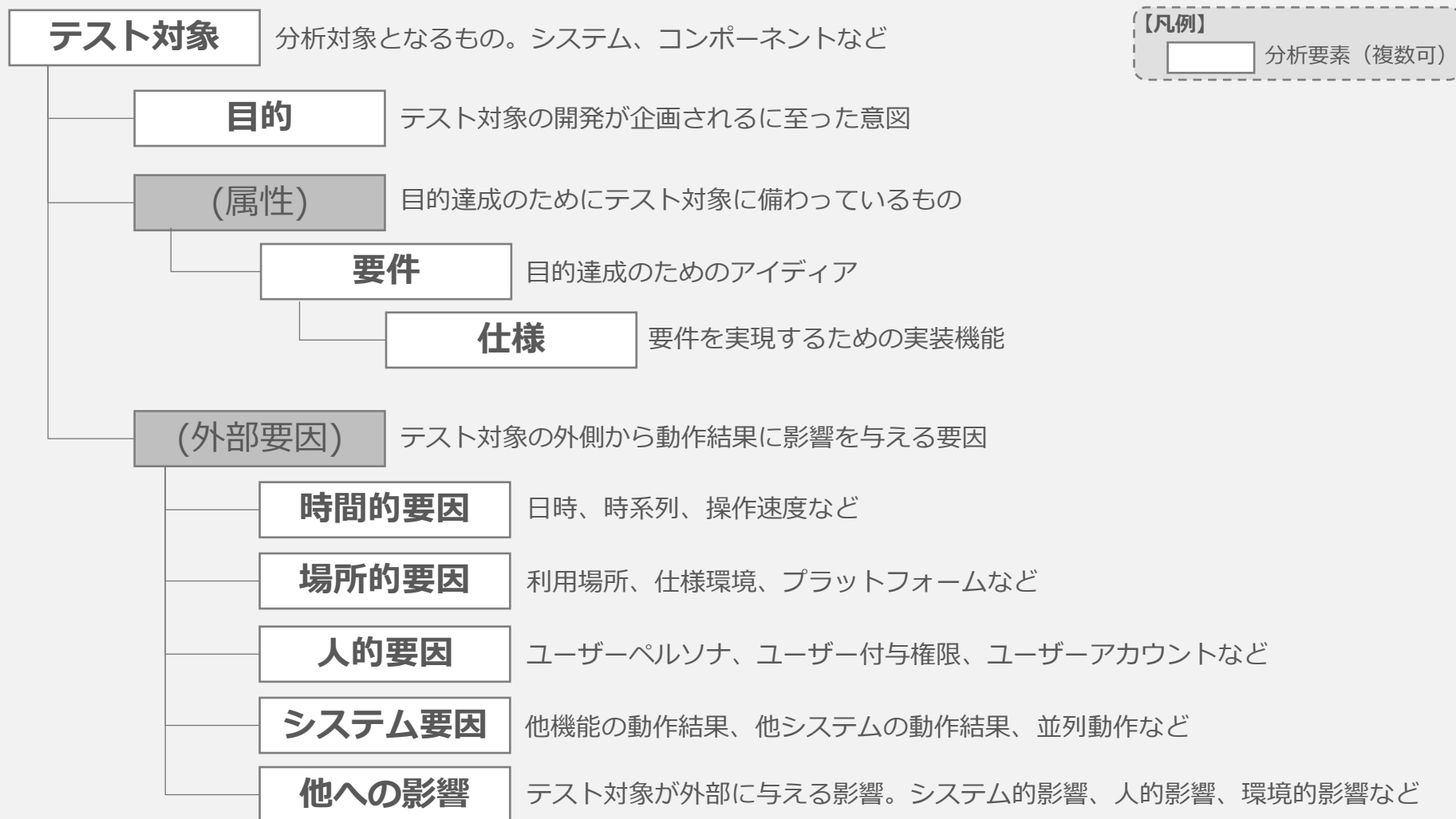
何をテストすべきか識別の施策

テスト分析テンプレートを開発した

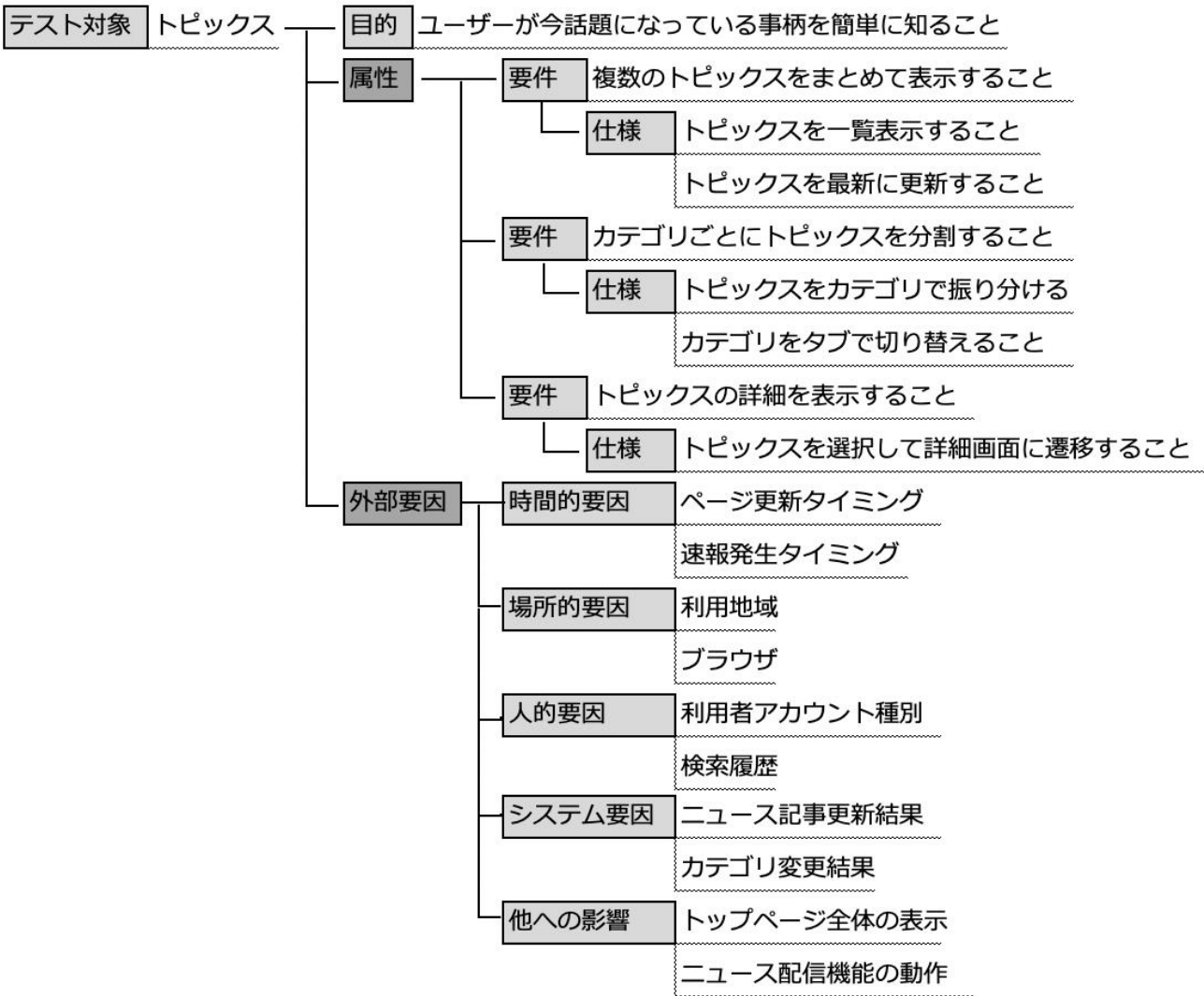
※テンプレート採用の理由

- トレーニング工数削減のため
- 誰がテスト分析を行っても一定の結果を得られるようにするため

テスト分析テンプレートの内容



テスト分析テンプレート使用例



※上記内容は実例ではありません

テスト分析テンプレート導入結果

Positive:

「何についてテストすべきか」は
何となくわかるようになった



Negative:

「どういうテストをすればいいか」
具体的なテスト条件の識別は難しい



テスト条件識別の施策

テスト条件識別テンプレートを開発した

※もっとも工夫した点

テスト分析テンプレートによる分析結果をそのまま当てはめるだけで
テスト条件が導けるようにした

 誰でも簡単にテスト条件が識別できるようにするため

テスト条件識別テンプレートの内容

a. 目的が達成できることの確認

様々な {外部要因} において {要件} によって {目的} が達成できること

b. 要件を満たしていることの確認

様々な {外部要因} において {仕様} によって {要件} を満たしていること

c. 実装が想定通りに動作することの確認

様々な {外部要因} において {仕様} が想定通りに動作すること

d. テスト対象が他に与える影響の確認

{要件} によって、想定外の {他への影響} が発生しないこと

テスト条件識別テンプレート使用例

a. 目的が達成できること

- a.1 様々なページ更新タイミングにおいて、複数のトピックスをまとめて表示することによって、ユーザーが今話題になっている事柄を簡単に知ることができること
- a.2 様々なブラウザにおいて、カテゴリごとにトピックスを分割することによって、ユーザーが今話題になっている事柄を簡単に知ることができること
- a.2 様々な利用者アカウント種別において、トピックスの詳細を表示することによって、ユーザーが今話題になっている事柄を簡単に知ることができること

b. 要件を満たしていることの確認

- b.1 様々な検索履歴において、トピックスを一覧表示することによって、複数のトピックスをまとめて表示することができること
- b.2 様々な利用地域において、カテゴリをタブで切り替えることによって、カテゴリごとにトピックスを分割することができること
- b.3 様々なニュース記事更新結果において、トピックスを選択して詳細画面に遷移することによって、トピックスの詳細を表示することができること

c. 実装が想定通りに動作することの確認

- c.1 様々なページ更新タイミングにおいて、トピックスを一覧表示することが想定通りに動くこと
- c.2 様々なブラウザにおいて、トピックスを最新に更新することが想定通りに動くこと
- c.3 様々な利用地域において、トピックスをカテゴリで振り分けることが想定通りに動くこと

d. テスト対象が他に与える影響の確認

- d.1 複数のトピックスをまとめて表示することによって、想定外のトップページ全体の表示が発生しないこと
- d.2 カテゴリごとにトピックスを分割することによって、想定外のニュース配信機能の動作が発生しないこと

※上記内容は実例ではありません

評価

おおむね好評

「どういうテストをすればいいか」
が具体的に可視化された



自分の作ったテストに対して自信が
持てるようになった



改善を要する点

- 目的と要件を混同しがち

【例】 検索 — 目的 — 入力ワードを含むWEBサイトを一覧表示する

※ 検索の目的は「ユーザーが欲しい情報に素早く到達する」ことであり、
それを実現する要件が「入力ワードを含むWEBサイトを一覧表示する」となる

- 分析結果の粒度が細かくなりがち

【例】 場所的要因 — プラットフォーム —

- Android 7.0
- Android 7.1
- Android 7.1.1
- Android 7.1.2

- 分析結果の表現が冗長になりがち

【例】 仕様 — 検索テキストボックスに入力した文字列を検索APIの
Inputパラメータに指定して実行し、返ってきた結果を
検索結果表示エリアに更新日時の降順で一覧表示する

※上記内容は実例ではありません

今後の展開

**テンプレート利用対象者のテストスキルを
限定せず、もっと汎用的にしたい**

現状はテストスキル不足者のみを利用対象者に想定している

まとめ

- テストスキルの不足したテスト担当者が作成したテストについて、正当性と充足性に対する不安が生じた
- 上記課題を解決するためにテスト分析テンプレートを開発し、「何についてテストすべきか」を識別できるようにした
- 分析結果より「どういうテストをすればいいか」を識別するために、テスト条件識別テンプレートを開発した
- 上記取り組みにより、課題が解決したとの評価を得た
- テスト分析結果が煩雑になる傾向があるため、更なる改善が必要
- 今後は、テストスキルの程度を限定せずに利用できるテンプレートの開発を行っていきたい

ご静聴ありがとうございました